

## 国際公園資格 CIPP 資格認定と期間限定の特別認定についてのお知らせ

### 1. CIPP 資格認定

都市公園やレクリエーションに関する専門家による国際組織 World Urban Parks では、世界で通用する公園管理分野の資格、CPP (Certified Park Professional : パークプロフェッショナル、CIPP (Certified International Park Professional : インターナショナルパークプロフェッショナル) の二つの資格を創設しました。

CPP は、公園管理運営のプロフェッショナルとしての能力が国際標準に達していることを証明するもので、日本の公園管理運営士にあたります。

CIPP は、CPP の上級資格であり、CPP の能力を持つほかに、国際的に活躍ができる公園管理力やグローバルなものの見方、ベストプラクティスの応用力など最新の能力開発が完了していることを証明するものです。

資格認定の特徴は、学ぶことを通じて能力を開発し、その結果として保有する能力と関連する実務経験の検証を通じて国際認証を得るものです。資格認定対象者は、資格が求める能力をどの程度保有しているかを自己評価し、自分に不足する能力を獲得するための学習計画を作成し、3年以内に指定された学習計画を完了し、資格の認定を獲得します。

CIPP 資格の対象者は、次の A～C すべてに該当する必要があります。

- A CPP 資格 (日本の公園管理運営士で可) を保有し、かつ IFPRA 会員である
- B World Urban Parks (旧 IFPRA) 会員として 2 年以上経っている
- C 4 年以上の公園管理経験があり、2 年以上のシニアレベル (監督者、コンサルタント、上級計画者) の経験がある

※後述する特別認定に該当する方は、上記 A、B の要件に該当しなくても、特別認定の応募が出来ます。

CIPP の資格を取得するためには事前に CPP 資格を取得することが必要ですが、日本の公園管理運営士は、CPP と同等と認められていますので、公園管理運営士の方々に上記の要件に該当する方は、CIPP 資格認定にチャレンジすることが出来ます。

また、応募要件として World Urban Parks (旧 IFPRA) 会員として 2 年以上経っていることが条件ですので、まだ、World Urban Parks 会員でない方は、この機会に World Urban Parks にご入会下さい。World Urban Parks への入会手続きはこのお知らせの最後に記載があります。

### 2. 申込方法は次の通りです。

CIPP 資格認定の申込は、World Parks アカデミーのホームページで随時受け付けています。ホームページにある CIPP 申込フォーマットから電子申請してください。

ホームページアドレス：<http://ifpra-academy.org>

申込フォーマットには、氏名、メールアドレス、電話番号、住所、所属組織、追加コメントなどを記載します。

電子申請と同時にクレジットカードで申請費用の電子支払い手続きをしてください。

制度創設時の特典として、2015年12月末までにCIPP資格取得の申込をした方は、通常申込費用375米ドルから100米ドル減額した275米ドルで申し込みが出来ます。

申し込みが受け付けられるとWorld Parks アカデミー事務局である米国インディアナ大学エプリー研究所から「能力の自己評価」に回答するようメールが来ます。

メールに記載されているアドレスをクリックし、回答シートに必要な事項を記入し送信します。

申し込みから資格認定までの流れは次のとおりです。

- 1 申込書への記入・送付（World Parks アカデミーのホームページから申し込む）
- 2 申請料の支払い（クレジットカードでホームページ上で電子決済）
- 3 能力の自己評価（メールで送られてくるアドレスの回答シートに記入し送信する）
- 4 IFPRA アカデミーワークショップに参加
- 5 IDP（個人の学習プラン）を策定する
- 6 3年以内に指定されたIDP（個人の学習プラン）を修了する必要がある
- 7 卒業を申請する

\*注1：IDP完了時間は個人によって異なる

\*注2：World Parks アカデミーワークショップやIDP（個人の学習プラン）のためのEラーニングなどには別途費用が必要になります。

### **3. 資格の有効期間は3年で、資格を保持するためには更新手続きが必要になります。**

#### **■資格更新の対象者**

- 1 World Urban Parks の会員資格を維持している
- 2 CPD30時間を完了している

※CPD時間には、研修の受講、論文執筆、本の出版、会議、セミナー、ワークショップへの出席、講師歴等が当てはまります。

#### **■申込方法**

- 1 CPD30時間の内容を記載したリストを提出する  
(リストには、出席した日付、時刻、研修名、出席者を記載する)
- 2 申請書を提出し、必要な手数料を支払う

#### 4. CIPP 特別認定が期間限定で実施されます。

国際公園資格制度創設時の特典として、CIPP 特別認定が実施されます。この特別認定は、CIPP に相応しい活躍をされている方々を対象として、2015 年 12 月末までの期間限定で行われるものです。公園管理運営士の資格がなくても現在 World Urban Parks 会員でなくても 3 つの要件（下記の■特別認定の対象者参照）をクリアするならば、特別認定の対象になります。（ただし、現在 World Urban Parks 会員でない方は、事前に World Urban Parks 会員になる必要があります。）

この機会を生かして、是非 CIPP 資格にチャレンジしてください。

また、2015 年 12 月末までに申込をした方は、通常申込費用から 100 米ドル減額した 275 米ドルで申し込みが出来ます。

申込は、World Parks アカデミーのホームページの通常の CIPP 申込フォーマットからしてください。（特別認定のための申込フォーマットが別にはありません。）

申込フォーマットには、氏名、メールアドレス、電話番号、住所、所属組織、追加コメントを記載します。特別認定を希望する方は、追加コメント欄に特別認定を希望することや次に記載する特別認定の要件をクリアしていること具体的に示して（公園に関する博士であること、大学等での 20 年以上の教育経験、公園の仕事を 20 年以上経験するとともに国際的な経験があることなど）を記載するといと思います。

電子申請と同時に申請費用をクレジットカードで電子支払い手続きをしてください。

##### ■特別認定の対象者

次の 3 つの要件をクリアする必要があります。

要件 1 次のいずれかに該当すること

- ① World Urban Parks（旧 IFPRA）会員である
- ② World Urban Parks の役員である
- ③ 公園に関する博士号を持っている
- ④ 公園管理や公園分野に関しての高等教育機関での 20 年以上の経験
- ⑤ 公園の仕事を 20 年以上経験するとともに公園やレクリエーションに関する国際的な経験がある

要件 2 次のいずれかに該当すること

- ① CPP（公園管理運営士）の資格を持ち、公園関係のシニアレベルの専門家としての経験が 10 年あり、CIPP 資格が求める知識・経験・技術の 4 つの大項目別紙 1 のうち 3 つをクリアしている
- ② CPP 資格の対象者の条件別紙 2 を満たし、公園関係のシニアレベルの専門家としての経験が 10 年あり、CIPP 資格が求める知識・経験・技術の 4 つの大項目のうち 3 つをクリアしている

\*別紙 1, 2 は IFPRA ジャパンウェブサイト <http://ifpra.jp/> に掲載しております。トップページのお知らせ「国際公園資格 CIPP 資格認定と期間限定の特別認定についてのお知らせ」の PDF をご覧ください。

要件3 次の7つのアクティビティのうち4つを達成している

- a. World Urban Parks(旧 IFPRA)大会に参加した
- b. 国際的なコンサルタントや学校、現地調査の業務の経験がある
- c. ワークショップ、セミナー、クラス、プログラム、視察等を通じて国際的な公園やレクリエーションの運営について研修を受けた
- d. 国際性のある専門委員会やタスクフォースで貢献した
- e. 国際的な雑誌へ記事を掲載した
- f. 国際的な公園研究の実施した
- g. 上記以外で専門家としての公園に関するアクティビティの経験がある

#### ■特別認定の手続きと流れ

「能力の自己評価」(メールで送られてくるアドレスをクリックして出てくる回答シートに記入し送信する)に記載した内容に基づき、要件1、要件2がクリアしているか判断されます。

要件1、要件2がクリアしていれば、別途、要件3をクリアしているかどうか事務局から問い合わせのメールが来ます。そのメールに具体的なアクティビティの内容を記載して回答します。

これらの回答結果を事務局が審査し、最終的に World Parks アカデミー委員会の決定に基づき特別認定が確定します。

要件がクリアしていない場合は、特別認定は認められません。この場合、通常の CIPP 資格申し込みとして取り扱われます。

## 5. World Urban Parks への入会手続き

IFPRA ジャパンでは、World Urban Parks 加入手続き及び会費納入の代行をしています。入会希望の方は IFPRA ジャパン事務局までお問い合わせください。

#### ■お問い合わせ先

〒112-0014 東京都文京区関口 1-47-12 江戸川橋ビル 2 階 (一財)公園財団 内

電話:03-6674-1188 / FAX:03-6674-1190

E-mail: [ifpra-japan@prfj.or.jp](mailto:ifpra-japan@prfj.or.jp)

※この「国際公園資格 CIPP 資格認定と期間限定の特別認定についてのお知らせ」に記載した C I P P 資格の申込方法、認定の手続きと流れは、今後、変更される場合あることをご承知おきください。

## 別紙 1

### CIPP＝国際公園士資格が求める 知識・技術・能力

#### CIPP 資格の能力構成要素

基本的な公園管理能力を上回り、IFPRA アカデミーが注目する能力がある。これらの能力は、文化の壁を超え、総合的にものを見て国際的な公園管理をするために必要なものである。CIPP の公園管理能力は、4つの大項目とそれぞれの小項目で表される。

#### C1.0：世界で通用する公園管理力

##### C1.1:公園や保護地域の開設

次の事項に関する認識と理解

- ・公園や公有地や保護地域に関する歴史及びその保全と保護運動の高まり
- ・執行権限を行政機関に付与する法律が、政策、手続きおよび運用上の問題に関する意思決定にどのように影響を与えるか。

##### C1.2:持続可能な資源管理;

世界中の公園やレクリエーションの場で利用される資源の範囲を理解することは、地球の持続可能性のために業界の最良な方法を利用する上で不可欠である。

##### C1.3:公園や保護地域の運営

国際的なリーダーシップには、運営職務と業界標準の詳細な知識が必要になります。異文化の動向や手法を理解することは、バランスのとれた国際的に活躍する経営者として必要である。

##### C1.4:国際チームで働く力

国際(または多文化)のチームは、世界的な運営のために絶対に必要である。基本的な要件は、競争上の優位性や自ら及び交渉相手双方に都合のいい状況を作り出すために、文化の多様性を大切に、統合させることである。

#### C2.0:グローバルなものの見方

##### C2.1:異文化の理解;

文化的感受性に不可欠なキーは、人間の平等と自民族中心主義という人間関係の二つの基本的な問題の解決に基づいている。

##### C2.2:状況への適応;

適応性の鍵となる要素は、混乱が発生しているように見える場合に状況がどのように移り変わるかを制御出来ていないことに関して不安をもたないことです。スキルは、やりたいようにさせることとプロセスを信頼することである。

##### C2.3:語学力;

世界で活躍する経営者や駐在員は、ビジネスを行う国の言語の語学力は必須である。

##### C2.4:政治への対応

公園を開設することは、本質的に政治そのものであり、政治のしかたは国によってまちまちである。政治の動きを理解し、様々な政治的状況の中でうまく動くことが不可欠である。

#### C3.0:世界標準の課題対応

##### C3.1:研究とベストプラクティスの応用;

世界に影響を及ぼす様々な手段を持っている。新しくなじみのない分野への理解を深める能力。最良の方法をする上で障害になる労働慣行を克服すること。

### **C3.2:効果測定;**

公園や公共空間を管理したり作業する人達にとっては、その場所が多くの効用を持つことは明らかであるが、効用を明瞭に表現するためには、結果を判断することの組織的測定基準を必要とする。

政党や有権者や可能性のある相手であるかないかにかかわらず、支援を求めたり、重要な情報を伝えるために、成果を測定することは非常に重要である。

### **C3.3:公園や保護地域の運営力**

公園や保護地域は国によって異なるが、地方であれ地域であれ国際的企業であっても、一般的な方法を共有し、多文化的な実用性のある知識を反映した最良の方法を実行することを理解できることが必要である。

### **C3.4:国際交渉力;**

交渉の重要な能力は、関係者全員に利益をもたらす解決または合意を見つけ出すことである。交渉を成功させるには全員に有利な状況をつくる事である。さらに、国際的な協調体制を意識し、形成する能力は、大きな業界の問題に対処するために不可欠である。

### **C4.0:グローバルな管理手法**

#### **C4.1:国際人としての意識;**

世界で活躍する業界の専門家は、共通の目標や価値観を共有していることを理解している。これは、異なる文化的視点が抑制されていないことを保証し、グループの円滑化とチームワークを慎重かつ体系的なアプローチの必要性に敏感であることが不可欠である。

#### **C4.2:情報の収集加工;**

この能力の基本的な要件は、情報の継続的取得や新しい知識を生み出すために情報を総合化する能力である。

#### **C4.3:変革への適応;**

変革に適応する最も重要な要素は、抵抗し生き残りを基本とするからの考え方からの変換であり、活動のための危機であるという認識よりも、変革が将来を成形する継続的な機会であるという認識に転換することである。業界の課題と政策の変更は、一般的に適応を必要とする主要な変革である。

#### **C4.4:地球規模の課題への対応;**

気候変動や地球温暖化などの地球環境問題が公園や公有地にどのように影響するかを理解することは、意思決定と全体的な公園運営を助ける。他の世界的な肥満を含む健康の問題、ライフスタイルの選択、および地域コミュニティや、公園、レクリエーション施設、および公有地の役割などの問題も同様である。

#### **C4.5:コンサルティング;**

ベンチマーキング、世界経済、商業、通信、メディアについてのコンサルティングの役目を理解し、実行する。

公園や公有地の団体や新たな取り組みをサポートする科学的探究と研究をする。

## 別紙 2

### ■ CPP 資格の対象者

- I IFPRA 会員であること
- II 次のA～Cのいずれかに該当すること
  - A①学士号を保有している
    - ②公園関係で働いた経験が2年以上ある
    - ③CPP 資格が求める 11 分野の能力のうち少なくとも3分野のCPP能力があると評価される
  - B①シニアレベルの公園管理の経験が5年以上ある
    - ②CPP 資格が求める 11 分野の能力のうち少なくとも4分野のCPP能力があると評価される
  - C①シニアレベルの公園管理の経験が5年以上ある
    - ②IFPRAアカデミーが指定した研修を終了し、CPP 資格が求める 11 分野の能力のうち少なくとも5分野のCPP能力があると評価される

### CPP 資格が求める 11 分野の能力

IFPRA アカデミー公園管理能力は多文化的な状況を反映している。資格が必要とする能力は公園管理において常に基本であり、普遍的なものである。その場所、政治的背景、およびその国またはエリアの状況により基本方針を実行する最良の方法や過程は異なるかもしれないが、目指す方向は同じである。公園管理能力は次の構成要素で表される。:

#### 1 資産管理:

施設管理、景観維持、設備保守をする上で、保有する資産を最小限の経費で管理する能力

#### 2 造園と園芸

緑地に関する科学的知見と技術を理解する能力

#### 3 維持管理:

人々が安全で安心して公園を利用できるよう、景観を維持し、施設を管理する能力

#### 4 プロジェクト管理:

長期計画策定、工程管理、予算管理、目標管理、プロジェクトチーム管理ができる能力

#### 5 保安全管理:

特別に保護された自然資源や文化資源を、公共の利益をもたらすよう持続可能な方法で管理する能力

#### 6 財政管理:

より効果的で、効率性が高く、説明責任を果たし、改革志向の財政管理ができる能力

#### 7 管理監督:

部下を監督し、職員採用がうまく、組織目標達成のために、部下の能力開発と教育ができる能力

**8 情報提供と教育:**

サインや展示、メディアを使った情報伝達、人による解説サービスなどによりステークホルダーへ情報提供し教育をする能力

**9 健康増進:**

人々の健康増進とそれに貢献する公園づくりに向けて、人々の健康のための影響解析や、プログラムを実行し、広めることのできる能力

**10 リーダーシップ:**

組織目的の履行のためにグループやチームを統率する能力

**11 レクリエーション:**

実施意図を十分考え利用促進につながるレクリエーション施設の運営やイベントを実施する能力